

坂本まちづくり推進協議会たより 創刊号

平成26年10月発行

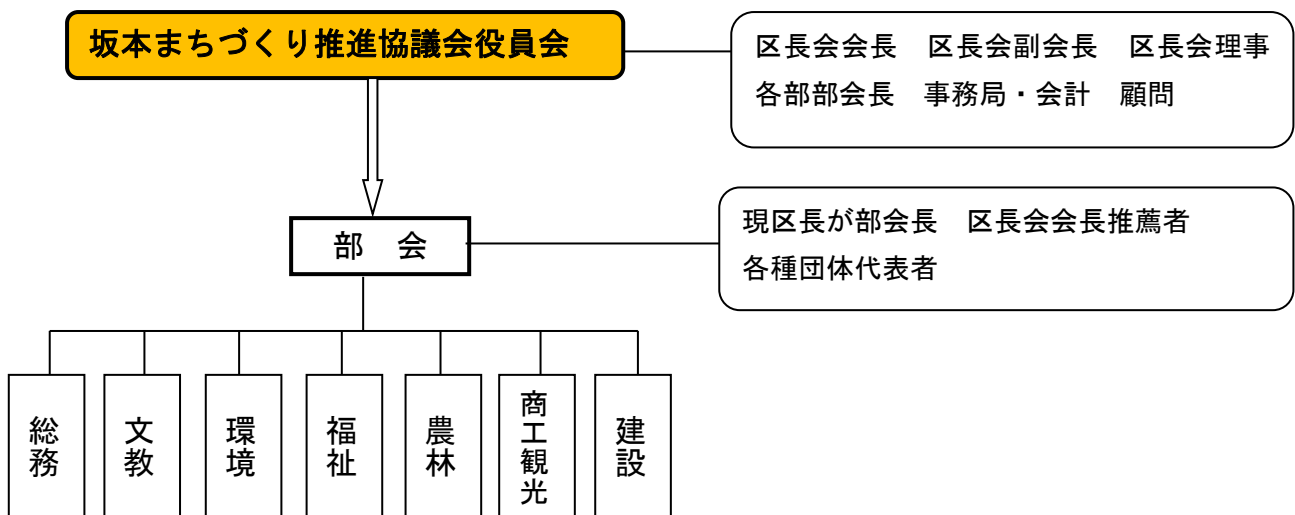
坂本まちづくり推進協議会（以下まち協と略す）では、約一年間区民向け広報紙の発行ができませんでした。理由としては当地を取り巻く多くの重大テーマへの取組があります。

昨年12月の坂本まちづくり特別委員会の編成、そして活動開始、2月のシンポジウム開催、続いて4月からの全市的な広報会長制度の廃止に伴う、区長会規約改正、まち協組織見直し及び規約改正（役割明確化）に続き、区長の多くが交代することに伴う新任区長研修会の実施、動き出した駅前整備区画整理事業に対する学習、区長会による先進地視察などに、取り組んで参りました。

現在、リニア事業では国交大臣認可待ち、濃飛横断道路計画では都市計画審議会通過後の知事の認可待ち、駅前整備事業では中津川市が事業者となる予定の「都市区画整理事業」のB調査（2次調査中）と大事業が目白押しです。

今回まち協総務部会（部会長安藤鉦治区長会理事）を編集長に総務部会を中心に「協議会たより」発行の運びとなりました。この号では現在進行中の諸事業の概要をまとめました。今後は、これを機にタイムリーで親しみやすい広報紙を目指し、引き続き発行して参る予定です。

また、今年4月から、まち協は以下の2つの組織で構成されています。（まち協会長 市岡 勉）



坂本まちづくり推進特別委員会

上記の役員会のメンバーを中心に、会長推薦者、オブザーバーとして、市より都市基盤整備部、リニア推進局、中津川市商工会議所、岐阜大学院生等で構成した委員会です。

昨年の12月に発足し、まちづくりの基本を、基盤整備・道路網整備に限定し、坂本地域で必要とされる道路について、市に要望することを目的としています。

今年の2月には、「坂本まちづくり構想シンポジウム」を開催し、岐阜大学の高木教授の基調講演と5人の有識者によるパネルディスカッションを行いました。

引き続き第2回目のシンポジウムを計画しています。

<市政懇談会について>

9月9日（火）に坂本まちづくり推進協議会と市の幹部とで市政懇談会を行いました。昨年までは、各部ごとに抱えている問題点を部会長が発表しましたが、今年は、各部で検討した問題点を役員会で検討し、以下の4つのテーマに絞って懇談会にのぞみました。

- ① 教育問題・教育施設の拡充問題
- ② リニア・濃飛横断自動車道路建設に伴う諸問題
- ③ 生活道路の充実について
- ④ 公共下水事業の推進について

なお、各部会からの要望事項とそれに対する市よりの回答は、市より回答があり次第区民の皆様へはお知らせします。

<坂本地区教育施設拡充懇談会の設立について>

市政懇談会で市より前向きな回答を受けて、9月29日に「第1回坂本地区教育施設拡充懇談会」を開催しました。懇談会は以下のメンバーで構成されています。

- 正会員（12名）
教育施設利用者の代表、坂本区長会の代表、有識者の代表
- オブザーバー会員（8名）
市議会代表、教育施設責任者代表、区長会代表
- アドバイザー会員（2名）
坂本事務所、中津川市教育委員会代表

懇談会での討議内容は、以下の2点です。

- ①坂本教育施設緊急課題の懇談・討議
- ②坂本教育施設長期的課題の懇談・討議

①については、昨年、文教部会で小学校の校舎を拡充するために、現在の坂本幼稚園の敷地が適当であると考え、そのため、幼稚園の移転先を調査し、4か所の候補地を市に提案しました。

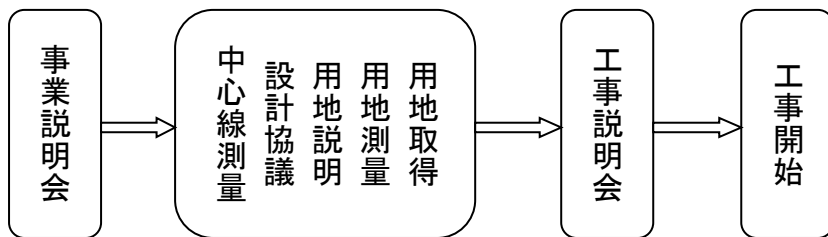
現在、市ではこの4か所について、箇所ごとに、利便性や種々の法規制などの視点より点数法による評価を行い、1か所に絞る作業を行っています。

次回の懇談会では、このテーマの解決の方法について討議する予定です。

<各プロジェクトの内容と今後の予定>

リニア新幹線

現在、JRは国土交通省へ工事实施計画書の申請・認可を行っています。認可が下りると以下の流れで建設が始まります。



- * 事業説明会は地区ごとに開催されます。
- * 地上駅と高架橋は10年間ぐらいの予定でほぼ同時に工事開始されます。
- * 工事工程表は環境影響評価書を参考にしています。

地上駅

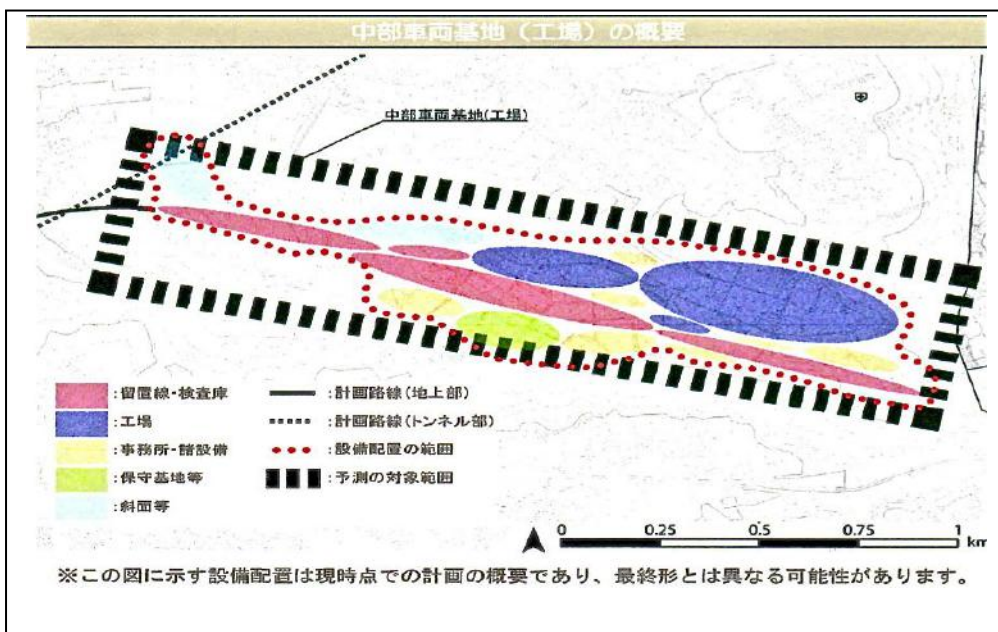
- ・電気機械設備工
- ・ガイドウェイ設置工
- ・フード架設工
- ・躯体構築
- ・基礎工

高架橋

- ・電気機械設備工
- ・ガイドウェイ設置工
- ・上部工
- ・下部工
- ・基礎工

車両基地

* 工事期間は約9年の予定です。

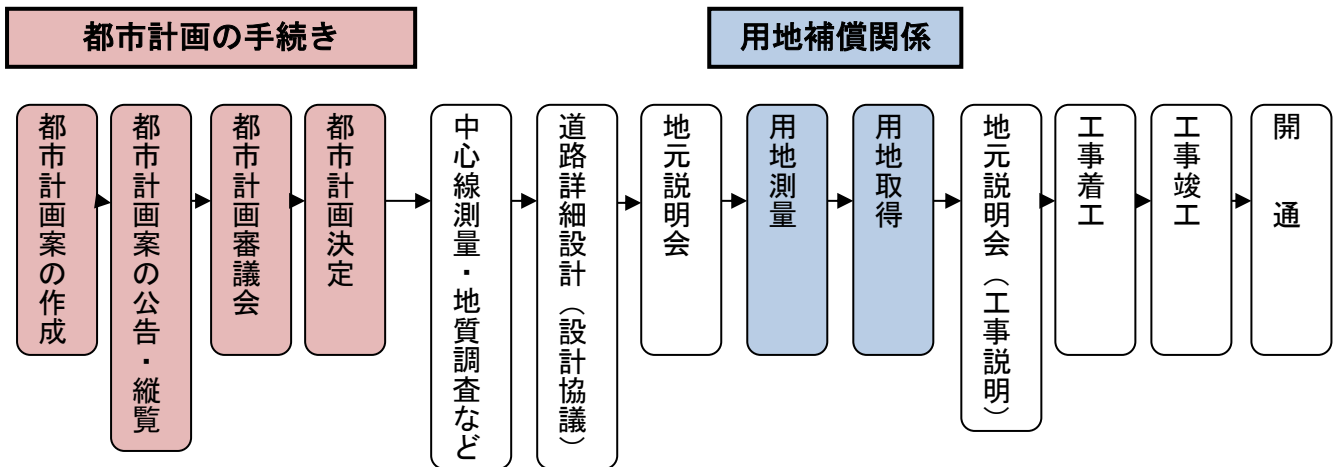


工事項目

- ・造成工
- ・路盤工
- ・ガイドウェイ設置工
- ・電気機械設備工
- ・建屋築造工

濃飛横断自動車道

現在、都市計画の手続きに入っております。開通までのスケジュールは以下のようになっています。



坂本リニア駅周辺土地区画整理事業

土地区画整理事業とは、道路、公園、河川等の公共施設を整備改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業です。市は昨年度よりリニア駅周辺の地域について、現況調査を行い、土地区画整理事業調査範囲（案）を作成しました。

今年度は、この案をもとに、区長会への説明、住民説明会及びアンケート調査を行う予定です。この事業に関係する組織は以下の通りです。

組織	構成員	事務局	役割	時期
まちづくり委員会	区画整理区域内地権者代表 まちづくり推進特別委員会代表	中津川市	土地区画整理事業の検討	H26. 12～
土地区画整理審議会	県議会議員 市議会議員 地元代表者	中津川市		区画整理事業中
坂本リニア駅周辺区画整理事業準備委員会	関係区区長（11-2, 12-1～4、6区） まちづくり推進協議会の役員	区長会	住民からの要望のとりまとめ、事業主体との連絡・協議	H26. 8～
リニア岐阜県駅・駅周辺整備協議会	学識経験者 交通事業者 岐阜県 中津川市 住民代表等	岐阜県	リニア岐阜県駅及び駅周辺の整備計画の検討（駅、駅前広場、連絡通路等）	H. 26. 8～

発行：坂本まちづくり推進協議会 連絡場所：中津川市坂本事務所
発行責任者：市岡勉 編集責任者：安藤鉦治